

I S O / I E C WG21 (IT Asset Management/IT資産管理)
WG 2 1 国際会議出席報告書

2018年11月26日

SAMAC 監事：島田

委員会名：SC7/WG21

報告者氏名（富士通）：高橋快昇

1. 開催場所：ロンドン（英）

2. 開催期間：2018.11.6-8

3. 参加国数/出席者数：

参加者：17名（8カ国，3リエゾン）、

Web参加：1?名（カナダ、ポーランド、インド、カナダ、ニュージーランド・・・）

コンビナー，幹事，米（3），英（4），アイルランド（2），スイス（1），デンマーク（1），日本（高橋），SAMAC（島田），BSA（英），TagVault（米*） *：オンライン参加（多数）

4. 審議事項：

4.1 WG21 会議

コンビナーからの報告（Ron Bill）

- 160メンバー，24カ国，9リエゾンに拡大。
- Plenary で紹介された「2022年までに、ITAM機能が不十分なためにデジタルビジネスの30%が失敗するでしょう！ by Gartner」を再度我々の関心事として提起。デジタルビジネスでITAMの重要性を強調。
- 19770シリーズの既存構成とNWI（7つ）の紹介
- 5つのSG（ITAM Charter, ITAM in SaaS, ITAM for Cybersecurity, ITAM for IoT, ITAM Evangelism）の紹介

リエゾン報告

- SAMAC 報告：SAMACの概要と2018Plenary以降の活動，JIS化の状況，SAMAC標準の-1:3rdへの対応状況報告
- BSA、Tagvaultのリエゾン報告の近況報告
- CISCOのNathan Opheim（標準に関連しからずCISCO製品戦略で19770にどう関連しているかを報告。これは、注目に値する動きで自社製品がどう19770に対応しようとしているかの説明があった。
- ITAMツールベンダーのSNOW SOFTWAREからCEOのAxel Klingさんが参加した。
- ホスト国としてDave Phillipsさんが、BSIと自社（Catapult）の紹介

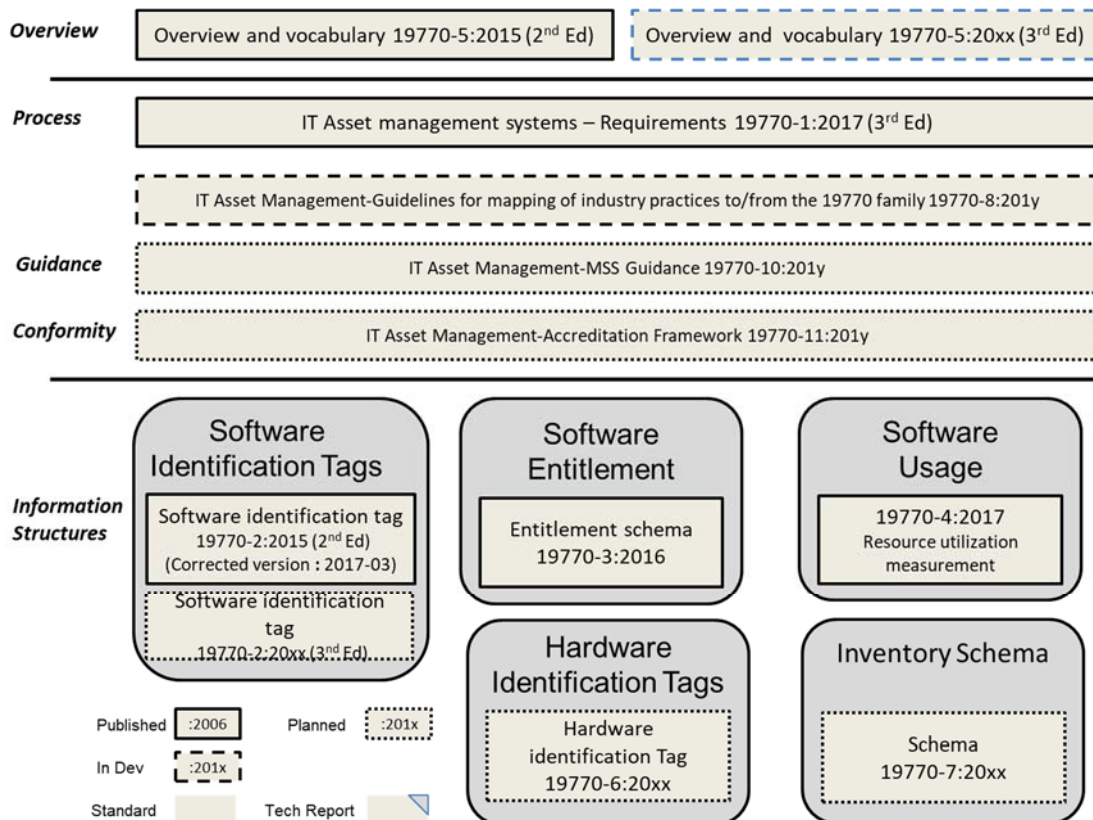
新メンバー

- RAY ALLENのRick Shepherdさんが新メンバーとして自己紹介
- Simon Boltonさんが新メンバーとして自己紹介

- Gartner の調達とベンダー管理のアナリスト Stephen White さんが新メンバーとして自己紹介
- Piaras MacDonnell さんが新メンバーとして自己紹介

WG 作業報告

19770 シリーズの構成は以下のようになっている。



2018r1

- 19770-2: 3rd (ソフトウェア識別タグ)。Tag Vault の Executive Director である Stave Koo が Tag Vault の活動を紹介。アメリカの政府機関で Tag の利用が進んでいるが、順調に利用が進んでいる状況でもないため、大規模組織で活用することを期待すると説明。
- 19770-5 : 3rd (概要及び用語)。19770 シリーズ既出版の標準の用語をまとめる。第 2 版までは SAM 中心で記述していたが本版では完全に ITAM ベースで書き直すこと。そのため、ISO55000 の用語を多用する。また、-6, -7, -11 を含め、各標準の概要を記述する。その際、各標準の開発者からメンバーをアサインし、LiveLink を活用して開発する。
- 19770-6: (ハードウェア識別タグ) PC, サーバ, モバイルデバイス, IoT を対象に -2, -3, -4 をベースにして開発することになっているが、-2 の 3rd の NWI が進んでいることもあり -2 の内容と平行して進めるので、Plenary の時いわれていたスピード感はなくなった。
- 19770-7: (インベントリスキーマ) エディターの Roel Decneut の代わり、Tim McGrath が報告した。現在、-2, -3, -4, -6 を調査している段階のようで全体で整合化させながら進めることが大事との認識、協力体制が調整された。

- 19770-8: (19770 の規格とマッピングを作成するときのガイド) DIS 投票の結果が報告され、反対投票がなかった。Pメンバー17ヶ国が全て賛成している。ISに進む。IAITAM、BSA,SAMACは、まず、-8のフォーマットで業界の標準とISO/IEC 19770 標準のマッピングを作成する。SAMACは現状の標準と-1:2012 のマッピングを-8 フォーマットで作成する。
- 19770-10: (ガイドライン) 19770-1:エディターの Dr. Jan H. & George A.が、-11 に注力していて本規格の標準はあまり進んでいない。ただ、各国とも-1 に併せて規定基準を見直しているので実質あまり問題ではない。
- 19770-11: (ITAM システム監査・認証機関への要求事項) この規格は、ITアセットマネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項を規定しており、品質、環境及び他の種類のITアセットマネジメントシステムを審査し認証する機関に対する一般的要求事項を規定している。基本は、「ISO/IEC 17021-1:2015 Conformity assessment-Requirements for bodies providing audit and certification of management systems-Part 1: Requirements JISもある」がベース。WDは完成度が高く、すでにCD-1レベル。

啓蒙活動の状況

ITAM Review の Martin Thompson から ISO/IEC 19770 の啓蒙のための活動状況が報告された。

5. 今後の開催予定

- Plenary Meetings : 2019 Espoo, Finland (19-24 May 2019),
- Interim Meeting : 2019 Chicago USA(12-14 Nov 2019)
- Plenary Meetings : 2020 Okayama, Japan (07-12 June 2020)

以上.